



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	3,858	10.3	176		164		123	
2018年3月期第1四半期	4,300	14.8	137		131		10	

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 141百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 10百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	142.78	
2018年3月期第1四半期	11.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,667	5,944	50.9
2018年3月期	13,052	6,146	47.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 5,944百万円 2018年3月期 6,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期				70.00	70.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.5	320	28.2	320	29.3	180	55.8	208.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	1,016,961 株	2018年3月期	1,016,961 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	152,160 株	2018年3月期	152,139 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	864,817 株	2018年3月期1Q	865,790 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。海外経済においては、米国の通商政策や欧州での不安定な政治動向、東アジアにおける地政学的なリスク、金融資本市場の変動リスク等、世界経済全体が不安定化しつつあり、先行き不透明な状況となっております。

ICT業界におきましては、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの技術進化とともに、働き方改革への取り組みなどを背景とした企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新需要は拡大傾向にあります。

このような経営環境のもと、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に大幅な増収となった情報通信機器、システムエンジニアリングサービス、電子デバイスが当第1四半期連結累計期間においては匹敵する規模の商談が少なく、38億58百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により、営業損失1億76百万円（前年同期は1億37百万円の営業損失）、経常損失1億64百万円（前年同期は1億31百万円の経常損失）となり、前年同期には投資有価証券売却益による特別利益の計上がありました。当第1四半期連結累計期間では特別利益の計上がなかったことから親会社株主に帰属する四半期純損失1億23百万円（前年同期は10百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、前年同期に大型商談によって増加した情報通信機器、システムソリューションの売上が減少し、電子デバイスもユーザーのモデルチェンジによる生産終息等のため減少したことから、売上高は20億83百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は1億29百万円（前年同期は1億16百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、自治体向けシステムの更新需要の減少による情報通信機器の売上減やフィールドサービス、システムソリューションも減少したことから、売上高は8億85百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少とシステムエンジニア、フィールドサービスの採算悪化により、営業損失は12百万円（前年同期は22百万円の営業利益）となりました。

「西日本」は、公共、製造業向けのシステム開発やサーバ導入商談によりシステムエンジニアリングサービス、情報通信機器の売上が増加したことから、売上高は8億57百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と原価率の改善により、営業利益は11百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、13億84百万円減少し、116億67百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が6億11百万円、商品が3億75百万円、仕掛品が75百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が24億92百万円減少するなど、流動資産が14億12百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、11億82百万円減少し、57億23百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が9億1百万円、賞与引当金が2億36百万円減少するなど、流動負債が11億57百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億2百万円減少し、59億44百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1億84百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込どおりに推移しており、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,930,067	4,541,099
受取手形及び売掛金	5,689,455	3,197,055
電子記録債権	184,390	215,763
商品	507,855	883,737
仕掛品	115,780	190,788
その他	94,223	79,721
貸倒引当金	△1,968	△988
流動資産合計	10,519,804	9,107,176
固定資産		
有形固定資産	1,084,065	1,076,102
無形固定資産	57,043	47,120
投資その他の資産		
投資有価証券	386,102	377,302
敷金及び保証金	453,051	456,776
繰延税金資産	493,048	543,830
その他	65,546	65,526
貸倒引当金	△6,653	△6,659
投資その他の資産合計	1,391,096	1,436,777
固定資産合計	2,532,205	2,560,000
資産合計	13,052,009	11,667,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,921,994	2,020,403
短期借入金	1,109,680	1,112,905
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	150,977	21,166
賞与引当金	399,000	163,000
役員賞与引当金	14,500	-
その他	876,115	996,860
流動負債合計	5,522,267	4,364,335
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,246	82,906
退職給付に係る負債	1,227,580	1,209,397
資産除去債務	66,187	66,386
固定負債合計	1,383,014	1,358,690
負債合計	6,905,281	5,723,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,629	2,359,629
利益剰余金	1,616,886	1,432,874
自己株式	△265,176	△265,254
株主資本合計	6,004,347	5,820,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,492	147,412
為替換算調整勘定	△11,111	△23,518
その他の包括利益累計額合計	142,380	123,893
純資産合計	6,146,728	5,944,150
負債純資産合計	13,052,009	11,667,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,300,112	3,858,888
売上原価	3,615,842	3,214,897
売上総利益	684,270	643,990
販売費及び一般管理費	821,780	820,114
営業損失(△)	△137,509	△176,123
営業外収益		
受取配当金	4,798	4,564
為替差益	-	6,875
その他	4,112	3,841
営業外収益合計	8,911	15,281
営業外費用		
支払利息	1,907	2,134
為替差損	730	-
その他	432	1,204
営業外費用合計	3,071	3,338
経常損失(△)	△131,669	△164,180
特別利益		
投資有価証券売却益	175,702	-
特別利益合計	175,702	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,032	△164,180
法人税、住民税及び事業税	8,090	7,090
法人税等調整額	25,891	△47,796
法人税等合計	33,981	△40,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,051	△123,474
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,051	△123,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,051	△123,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,127	△6,080
為替換算調整勘定	△1,868	△12,406
その他の包括利益合計	258	△18,487
四半期包括利益	10,309	△141,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,309	△141,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,534,275	949,854	783,590	4,267,720	32,392	4,300,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,844	—	435	4,280	69,030	73,310
計	2,538,120	949,854	784,026	4,272,001	101,422	4,373,423
セグメント利益又は損失(△)	△116,021	22,148	△17,780	△111,653	△8,608	△120,261

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△111,653
「その他」の区分の利益	△8,608
セグメント間取引消去	301
全社費用(注)	△17,550
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△137,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,083,370	885,200	857,023	3,825,594	33,293	3,858,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,753	—	23	11,777	65,153	76,931
計	2,095,123	885,200	857,047	3,837,372	98,447	3,935,819
セグメント利益又は損失(△)	△129,327	△12,368	11,820	△129,875	△5,300	△135,175

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△129,875
「その他」の区分の利益	△5,300
セグメント間取引消去	82
全社費用(注)	△41,030
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△176,123

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。